発表者問い合わせ先一覧

●口頭発表

O-1　アイランドシティはばたき公園の人工湿地における環境DNAメタバーコーディング法に基づく鳥類調査手法の検討

更谷有哉[1]、中島 淳[1]、平川周作[1]、石間妙子[1]、香月 進[1]、服部卓郎[2]（[1]福岡県保健環境研究所、[2]NPO法人ふくおか湿地保全研究会）

【　お問合せ連絡先：saratani@fihes.fukuoka.jp　】

O-2　田植え時期の違いおよび輪作の有無に応じた水生動物群集と指標種の抽出

安野翔（埼玉県環境科学国際センター）

O -3　日本生物多様性観測ネットワーク（JBON）の活動紹介

西廣 淳、山野博哉（国立研究開発法人 国立環境研究所）

O -4　日本の絶滅危惧シダ植物の現状と保全における優先課題

海老原 淳、堤 千絵（国立科学博物館）

【お問い合わせ連絡先：ebihara@kahaku.go.jp】

O -5　いきものログを活用した生物多様性情報の収集、提供について

浜田 拓[1]、岡田美佳[1]、武田治子[1]、根上泰子[2]、井上 隆[2]、菅野貴久[2]（[1](株)地域環境計画、[2]環境省生物多様性センター）

【お問い合わせ連絡先：ikilog_info@env.go.jp】

作成日		作成目的	
作成担当（係名）		機密性	
保存期間（〇年）		備考	ﾚｺｰﾄﾞ識別番号：

●ポスター発表

P-1　静岡県立磐田南高等学校旧蔵のトキの剥製標本

早川宗志・岡宮久規（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

【お問い合わせ連絡先：mune52jp@yahoo.co.jp】

P-2　名古屋市におけるクビアカツヤカミキリの現状と防除について

加藤航大（名古屋市環境局なごや生物多様性センター）

P-3　愛媛県における特定希少野生動植物「ミズキンバイ」の保護管理

成松克史[1]・原 有助[1]、黒田啓太[2]（[1]愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター、[2]元・愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター）

P-4　椹野川河口干潟における住民参加による網袋を用いたアサリ保護活動について

元永直耕[1]、梶原丈裕[1]、木下友里恵[1]、柿薗博美[2]（[1]山口県環境保健センター、[2]山口県環境生活部自然保護課）

P-5　環境省生物多様性センターが実施する環境DNA調査に関する取組について

庄司亜香音、河合真美（環境省生物多様性センター）

【お問い合わせ連絡先：MAMI_KAWAI@env.go.jp】

P-6　人と自然の博物館における植物標本デジタル化促進技術の開発―撮影装置から植物標本ラベルデータ自動抽出法まで

高野温子（兵庫県立大学自然・環境科学研究科／兵庫県立人と自然の博物館）

【お問い合わせ連絡先：takano@hitohaku.jp】

P-7　博物館・市町村・ボランティア等の連携による県内植物相調査の取り組み

大津千晶・斎木健一・天野 誠・御巫由紀・山本伸子・西内李佳・浅野紗彩（千葉県立中央博物館）

【お問い合わせ連絡先：c_otsu@chiba-muse.or.jp】

P-8　兵庫県美方郡での耕作放棄地を活用した牛放牧の導入プロセス：自然科学と社会科学の統合知の創出を目指して

衛藤彬史・中濱直之・藤本真里（兵庫県立人と自然の博物館）

【お問い合わせ連絡先：eto@hitohaku.jp】

P-9　ボランティアと共同で行ったぐんま昆虫の森園内の蛾類相調査

金杉隆雄[1]、筒井 学[1]、神保智子[1]、林 正樹[2]、小林栄一[2]、天谷初夫[2]（群馬県立ぐんま昆虫の森、ぐんま昆虫の森ボランティア）

【お問い合わせ連絡先：kanasugi-t@pref.gunma.lg.jp】

作成日		作成目的	
作成担当（係名）		機密性	
保存期間（〇年）		備考	ﾚｺｰﾄﾞ識別番号：

P-10　長野県環境保全研究所標本庫（NAC）データベースの地域植物誌改訂への活用：県内標本情報との統合・利用

尾関雅章・荒井沙由理（長野県環境保全研究所）

【お問い合わせ連絡先：ozeki-masaaki@pref.nagano.lg.jp】

P-11　Snapshot Global & Japan: 全球規模の野生動物カメラトラップ調査イニシアチブ

深澤圭太（国立研究開発法人 国立環境研究所）

P-12　千葉県レッドデータブック植物・菌類編2023年改訂版から見えたこと

下稲葉さやか（千葉県環境生活部 自然保護課 生物多様性センター）

【お問い合わせ連絡先：bdc@mz.pref.chiba.lg.jp】

P-13　名古屋市熱田区太夫堀の底生藍藻

福岡将之、大畑史江、岡村祐里子（名古屋市環境科学調査センター）